

[専門教育科目/看護の基本]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
フィジカルアセスメント	NSP12_002	必修	2	1	後期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
窪川 理英	404	r.kubokawa	金曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	少子高齢化、医療の複雑化、在宅医療の推進等医療を取り巻く社会的情勢変化により時代のニーズとしてフィジカルアセスメント技術は看護師に欠かせない能力となっている。看護の対象者である人間の身体に注目し健康に問題を持つ対象者の身体的情報を評価する方法（フィジカルイグザミネーション）を学ぶ。得た情報から対象者の健康状態を考える力（アセスメント）を身に付けることを目標にする。フィジカルアセスメント技術を身に付けることにより対象者をより実践的に理解する能力が身につく。授業は同時双方向型で行う。				
学習上の助言	学習効果を上げるためには、「人体構造機能学」を復習することで、身体の機能を評価する必要性を理解し、評価方法としてフィジカルイグザミネーションを学びフィジカルアセスメントの理解が深まることが期待される。				
教科書	看護がみえる Vol.3 フィジカルアセスメント/編：医療情報研究所/メディックメディア/2019				
参考書	系統看護学講座専門分野 I 基礎看護技術 I 基礎看護学②/著：有田清子ほか/医学書院/2019				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	フィジカルアセスメントについて理解できる		HSU(2)、NS(1)～(5)		
②	人体機能を評価する方法としてフィジカルイグザミネーションが理解できる		HSU(2)、NS(3)		
③	バイタルサイン測定の意味を理解し測定することができる		HSU(2)、NS(3)		
④	フィジカルイグザミネーションを実施しフィジカルアセスメントが考えられる。		HSU(2)、NS(3)		
⑤	フィジカルアセスメントをとおして対象者の健康状態を考えられる。		HSU(2)、NS(3)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	フィジカルアセスメントの概要を学ぶ（ヘルスアセスメントとの比較）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。骨格の名称を覚える。次回の授業範囲（p2～p9）の予習	1	
2	フィジカルアセスメントの概要を学ぶ（コミュニケーション能力の活用）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。骨格の名称を覚える。次回の授業範囲（p10～p14）の予習	1	
3	フィジカルイグザミネーションの概要を学ぶ（問診、視診、触診、打診、聴診）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。骨格の名称を覚える。次回の授業範囲（p15～p22）の予習	1	
4	フィジカルイグザミネーションの概要を学ぶ（問診、視診の重要性）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。骨格の名称を覚える。次回の授業範囲（p24～p33）の予習	1	
5	バイタルサイン測定を理解する	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。骨格の名称を覚える。次回の授業範囲（p34～p59）の予習	1	
6	体温・脈拍・呼吸数の測定方法を理解する	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。骨格の名称を覚える。次回の授業範囲（p60～p64）の予習	1	
7	血圧測定方法を理解する（血圧測定機器を学ぶ）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。動脈測定部位を覚える。次回の授業範囲（p65～p83）の予習	1	
8	血圧測定方法を理解する（血圧測定方法を学ぶ）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。動脈測定部位を覚える。次回の授業範囲（p65～p75）の予習	1	
9	血圧測定方法を理解する（触診測定方法を学ぶ）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。動脈測定部位を覚える。次回の授業範囲（p65～p75）の予習	1	
10	血圧測定方法を理解する（聴診測定方法を学ぶ）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。動脈測定部位を覚える。次回の授業範囲（p84～p99）の予習	1	
11	頭頸部のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p100～137）の予習	1	

[専門教育科目/看護の基本]

12	頭頸部のアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p100～137）の予習	1
13	呼吸器系のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p138～169）の予習	1
14	呼吸器系のアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p138～160）の予習	1
15	循環器系のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p100～160）の予習	1
16	循環器系のアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p100～169）の予習	1
17	呼吸器・循環器系のフィジカルイグザミネーションを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p100～169）の予習	1
18	呼吸器・循環器系のフィジカルアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p170～203）の予習	1
19	腹部のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p170～203）の予習	1
20	腹部のアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p204～213）の予習	1
21	乳房と腋窩のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p204～213）の予習	1
22	乳房と腋窩のアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p214～225）の予習	1
23	直腸・肛門・生殖器のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p214～225）の予習	1
24	直腸・肛門・生殖器のアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p226～275）の予習	1
25	脳・神経系のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p226～275）の予習	1
26	脳・神経系のアセスメントを学ぶ（中枢神経を学ぶ）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p276～325）の予習	1
27	脳・神経系のアセスメントを学ぶ（末梢神経を学ぶ）	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p326～363）の予習	1
28	筋・骨格系のアセスメント概要を学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p326～363）の予習	1
29	筋・骨格系のアセスメントを学ぶ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。次回の授業範囲（p1～363）の予習	1
30	フィジカルアセスメントのまとめ	同時双方向型授業	授業資料を読み返す。試験準備として今までの学習をまとめる	1
試	定期試験：達成度評価、評価のポイント参照			

[専門教育科目/看護の基本]

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		70	20	10	0	0	100
総合力指標	知識・技術力	70	0	10	0	0	80
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	0	20
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント					フィードバックの方法		
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	筆記試験、フィジカルアセスメントの理解および人体構造機能を理解したフィジカルイグザミネーションの理解。	テストの回答を公表			
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤	✓					
レポート	①	✓	系統ごとの課題学習	授業において解説			
	②						
	③	✓					
	④						
	⑤	✓					
成果発表	①		バイタルサイン測定技術における知識の確認	個別指導			
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
<p><b>教員の実務経験：</b> 看護師として20年以上の臨床経験</p> <p><b>実践的授業の内容：</b> 実務経験のある教員の指導のもと、事例を活用したフィジカルアセスメントについて理解を深める。</p>							